

(款) 50消防費 (項) 5消防費 (目) 15消防施設費

◎消防施設の経費

車両購入事業 【 警防救急課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 消防車両

意図 最新鋭の車両に更新し、火災等各種災害に対応できるようにするため。

効果 市民を災害から守る。

【事業の内容】

- (1) 車両購入事業
 - ・救急車、消防車等各種緊急自動車の計画的な更新を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

高規格救急車の配備(5-1-4-⑥)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
96,899	87,659	87,658		1

主な支出内訳

・ 車両購入事業				
消防ポンプ自動車購入費	(浄明寺出張所)	1台		31,159
高規格救急自動車購入費	(今泉出張所)	1台		34,339
小型動力ポンプ付積載車購入費	(第5・第8・第23分団)	3台		22,160

主な特定財源

・ 国県支出金				34,594
・ 地方債				47,000

現有消防車両(平成21年3月31日現在)	
常備消防分	
梯子付消防自動車	2台
化学消防ポンプ自動車	1台
水槽付消防ポンプ自動車	1台
消防ポンプ自動車	9台
高規格救急自動車	7台
普通救急自動車	2台
救助工作車	2台
トレーラー(水上オートバイ積載)	1台
査察車	2台
防災パトロール車・防災搬送車	3台
指令車(鎌倉消防署・大船消防署)	2台
乗用車	1台
水上オートバイ	1台
非常備消防分	
小型動力ポンプ付積載車	28台

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 救命率の向上を図るため、高規格救急自動車の積載装備品の検討を行う。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 最新救命資機材(自動式心臓マッサージ器)を導入する。ハイキングコースなどの不整地を含め搬送途上に外部の状況に左右されず安定した胸骨圧迫を継続できる。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 特になし。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 時代変化・災害状況の変化・各種資機材の開発等について研究・検討する。また、車両の更新時期を検討する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	今後は、車両更新時期の見直し検討と複雑多様化する災害及び地域の特性に対応できる最新車両を研究し更新していく。				
担当課長氏名:		齋藤 務			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	複雑多様化する災害に対応できる最新車両を更新し、消防の責任を果たす。				
担当部名	消防本部	部長名	畑 光則		